

ブロック説明会でのご意見と回答

| ブロック名 | 開催日 | 時間 | 場所 | 対象地区 | 参加者数 上段:会場 下段:オンライン | 意見 | 回答 |
|---|--|-----------------|-----------------|-------------|---------------------------|--|--|
| 深志南 | 3月9日 (木) | 18:30～ 19:30 | 松南地区公民館 大会議室 | 庄内、鎌田、松南、田川 | 16名 | ・交通系ICカードを使えるようにしてほしい。QRコード決済は読取りに時間がかかるし、専用アプリをダウンロードする必要があるため、好ましくないと考える。 | ・ご指摘のとおり、交通系ICカードが使えるのが望ましい。ただ、機器導入にバス1台あたり300万程度かかり、その費用を利益から生み出さないといけない状況。長野県は、交通系ICカードで検討を進めると聞いている。決済の選択肢が多いほうが望ましいと考える。 |
| | | | | | | ・全線時刻表は、全戸配布するか。 | ・各地区地域づくりセンターの窓口で配布予定 |
| | | | | | | ・南部循環線が片周りで不便のため、逆回りを検討してほしい。 | ・すぐに実現できるか別として検討したい。 |
| | | | | | | ・芸術館や美術館の催事の際に、臨時便を増発できないか。 | ・増発は今後の課題としたい。 |
| | | | | | | ・母が相澤病院に通院しているが、都合の良いダイヤがなく不便 | ・前回のブロック説明会で、相澤病院へのアクセスを充実してほしいという意見をたくさんいただいた。利用状況を見ながら検討を進めていきたい。 |
| ・テレビ番組でオンデマンド交通が紹介されていた。月5,000円で自宅まで送迎してくれるようだ。もう少し気楽に外出ができるようにしてほしい。観光客よりも地元の人を大切にほしい。 | ・バスやタクシー業界は、ドライバー不足が深刻な状況。オンデマンド交通が、本当に持続可能な交通手段なのか検討をしたい。 | | | | | | |
| 深志北 ※オンライン 配信あり | 3月14日 (火) | 18:30～ 19:30 | 安原地区公民館 大会議室 | 城北、安原、城東、白板 | 13名 (5名) | ・信大横田循環線の増便は、ありがたい。 ・学生が、雨天時や降雪時に乗ることが想定されるが、増便はするか。 | ・現在も運行事業者が松本バスターミナルの様子を見て増便している。乗り切れない場合は増便する。 |
| | | | | | | ・松本は道路が狭いと感じる。バス車両のサイズを需要に応じて変更できないか。小さい車両を使うと経費も安くなるのでは。 | ・運行事業者から聞いた話によると、朝は利用者が多く、昼間は少ない状況。潤沢にバス車両を購入するお金はないなかで「大は小を兼ねる」という考えで、大きいバスを運行している。ゆくゆくは、バス車両のサイズなどを踏まえで運行事業者と協議していく。道路の幅幅は必要ところはしていけない。公共交通と公的な整備をリンクさせ、路線バスを社会インフラとして捉えていきたい。 |
| | | | | | | ・公共交通機関を利用して外出することは医療費の負担減につながると感じる。もう少しPRしてもよいのでは。 | ・ご指摘のとおり。交通政策は、「福祉政策」や「教育施策」と関連している。医療費の抑制という観点から他の政策と絡めて進めていく。 |
| | | | | | | ・テレビ番組でオンデマンド交通が紹介されていた。良い案だと感じた。 | ・オンデマンド交通の導入でタクシー会社が廃業になったケースもある。そもそもドライバー不足で通常のタクシーが来ないケースもあると聞いている。オンデマンド交通は便利すぎではないかと感じる。 |
| | | | | | | ・市の事業バランス。高齢者が必要なものは確保し、核となるものは残す。前例踏襲とせず、トータルで市の予算を考えてほしい。必要なものは残し、必要でないものはカットする考え方が必要では。 | ・同感。行政は、仕組みとして廃止しにくい。なかなか削れない。一定の目的を果たしたのもやめることはできないことがあるため、自分が言わないことと聞いている。(宮之本副市長) |
| | | | | | | ・高齢者用の定期券はないのか。 | ・できるだけ高齢者にバスを使っていたいと考えている。今後検討していきたい。 |
| | | | | | | ・信大横田循環線が赤字の理由は。 | ・信大横田循環線は、便数も多く、利用者数も多いが、収支率は99%。廃止路線は、地域主導型バスとして運行している状況。運行主体が別々であったため、重複が生じているという認識を持っている。「追分」などを交通結節点として検討を進めていきたい。 ・乗降カウンターを全線に設置し、まず5年間は、集積したデータを把握し、効率化を図っていく。 ・KKO(勘・経験・思いこみ)の政策立案がされてきた。データに基づくものに変えていきたい。(宮之本副市長) |
| | | | | | | ・乗換結節点ができる場合には、雨風がしのげるような簡単な待合室か、バスを少数停めておける簡易バスターミナルを作る事になるのか。 | ・信大前は雨風がしのげるバス停がある。来年度新たにバス待ち環境を整備する予算を計上している。結節点の具体的な案は今のところないが、ご提案内容を検討したい。 |

| ブロック名 | 開催日 | 時間 | 場所 | 対象地区 | 参加者数 上段:会場 下段:オンライン | 意見 | 回答 |
|-----------------------|-----------|-----------------|---------------|--------------------------|---------------------------|--|---|
| 東山部 | 3月16日 (木) | 18:30～ 19:30 | 本郷公民館 大会議室 | 岡田、入山辺、里山辺、 本郷、四賀 | 16名 | <ul style="list-style-type: none"> ・10月以降のエリア一括について、内容を教えてほしい。 ・補助金でバスを運行している。運行事業者が請求金額をあげている。850万円の補助金をもらっても、ギリギリの状況で、このままいくと成り立たなくなる可能性がある。 ・再編は、南部と西部の変更がかなり出たという理解。動きが速いと思う。地域バスの収支率が悪く心配している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在は、6つの形態で運行。行政が制度設計し、交通事業者が運行する。プロポーザルを経て5年間の協定を結ぶ。現在のアルピコ交道路線、市街地循環線、西部コミバスの3つが対象 ・昨年、地域主導バス連絡会を開催し、意見交換を実施した。ここ数年の燃料費や人件費の上昇で、運行経費が上がっていることは承知している。ただ、来年度も850万円を補助金上限とした現在の形態を進めてほしい。補助金上限額の引き上げは、運行事業者や地域から話を聞く中で検討を進めたい。 ・確かに現在の西部地域コミュニティバスの収支率は悪く、10%前後である。地域の皆さまに課題と捉えていただき、育ててもらおうという感覚をもっていただかないと長続きしない。乗っていただく、利用していただかないと続かない状況だ。地域の盛上げのひとつとして、各地区の地域づくりセンターと協力していきたい。今後は、地域内移動が地域づくりにおいてウエイトを大きく占めていくという認識をもっている。地域の意向を尊重しながら、できるだけ将来にわたって持続できるようにご協力いただきたい。 ・交通施策は、交通施策だけでなく、「福祉政策」や「教育政策」と一緒になって考えないといけない。万年赤字の状況。いまそこにヌスをいれた状態。路線バスに県外の方や海外の方に乗っていただき、収入の面で補ってもらような仕組みを、市民の皆さまと協力して作り上げていきたい。 |
| 河西部 ※オンライン 配信あり | 3月27日 (月) | 18:30～ 19:30 | 島立公民館 大会議室 | 島内、島立、新村、和田、 神林、笹賀、今井 | 17名 (8名) | <ul style="list-style-type: none"> ・家族がいなくなると暮らせない。生活が成り立つか不安。具体的に暮らせるような検討がなされたか。 ・松本・島内線。いままで西部地域コミュニティバスA線で乗換なしで島内出張所に行けた。再編で乗換え含めて1時間半かかる。 ・せめて島内出張所にスムーズにいけるルートがほしい。 ・バスのアンケートを取ったことは承知している。年齢層の統計はあるのか。 ・コロナがいくらか落ち着いてくる。松本城あたりも外国人が多くなってきている。行先の案内を考えているか。 ・乗れ乗れといわれても、接続が悪いと若い人たちは乗らないと思う。何か方策はないか。 ・新しいバス停の時刻表を貼ったと聞いたが、ある地区では貼っていなかった。 ・タウンズニーカー西コース。松本駅から帰宅まで1時間以上かかってしまう。運賃が3倍かかるようになる。 ・ファーストワンマイルで新村地区が挙げられている。「送迎ボランティア」を指しているのか。 ・遠くまで行くのが難しくなった。さらなる支援をいただけるよう考えてほしい。 ・送迎ボランティアは、地区で自主的にやっている。今回の路線バス再編に合わせてやっているわけではないという認識を持ってほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況や収支状況や見ながら総合的に検討を進めてきた。4月以降課題が出てくると承知している。 ・ご指摘のとおり1時間以上かかる。 ・なぎさライフサイトや丸の内病院にどちらの系統も経由する。例えば、なぎさライフサイトで買い物をして乗継ぎするのはいかがか。路線バスですべての地区を結ぶのは困難 ・検討する。 ・各地区から70歳以上を中心にランダムに抽出した。ある地区では周知をしていたアンケート調査をしたところもあった。 ・すべての方に利用していただくために多言語化を検討したい。 ・経路検索をする外国人が多いという認識。現在反映されていない路線があるが、今後反映される。 ・特効薬はないと考える。利便性を向上させていくしかない。 ・ご迷惑をおかけした。一部路線では、貼りなおしを行った。 ・「松本・島内線」を利用されると推察。ルート上でフリー降車ができるため、近くで降りることは可能と考える。 ・タウンズニーカーから10円高くなるが、系統間の乗継料金を設定する。 ・お見込みのとおり。状況を把握しながら一緒に考えていきたい。 ・検討していく。 ・各地域で移動を考えていただいている。今回バス路線の見直しについてスタートが切れる。意見をもらいながら進めていきたい。 ・承知 |
| 河西部 ※オンライン 配信あり | 3月27日 (月) | | | 島内、島立、新村、和田、 神林、笹賀、今井 | 17名 (8名) | <ul style="list-style-type: none"> ・タウンズニーカー西コースを利用していた。再編に伴うチケットQRのプライベートの拡展しについて、情報の公表はいつか。 ・これまで市が年間2億円を負担していることは知らなかった。再編で圧縮できたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・詳細は後日公表する。 ・今後はアルピコ交通の赤字分を引受けていくことになる。数千万円は圧縮できた。 |

| ブロック名 | 開催日 | 時間 | 場所 | 対象地区 | 参加者数 上段:会場 下段:オンライン | 意見 | 回答 |
|----------------------|----------|-----------------|-----------------|----------------------|---------------------------|--|--|
| 南部 ※オンライン 配信あり | 3月28日（火） | 19:00～ 20:00 | 寿公民館 大会議室 | 中山、芳川、寿、寿台、内 田、松原 | 26名 (13名) | ・新規路線、感謝。日中のターゲットは、交通不便者と認識。自宅からバス停までどれくらい歩かだと思っている。バス停間が1キロ以上離れている。平田・村井線の基本的な考え方を教えてほしい。もう少し乗りやすいようにするのか。多少時間がかかってもバス停留所を増やしてほしい。コースは良いと思う。バス停は単に車両が停車しやすいところに設置しているのでは。 | ・バス停間の設置基準はない。バス停留所の位置は、地区の町会長さんにも協力いただいた。人家に遠い場所にあっては意味がないと思う。状況を踏まえる中で、見直しをしていきたい。 ・新設路線は、過去のデータがない。試行錯誤し、不断の改善をしたい。(宮之本副市長) |
| | | | | | | ・合庁付近で降車したい。どこで降りたらいいか。 | ・ルート上の安全な場所で、運転手が確実に停車できるところで「フリー降車」ができる。国道158号の手前で降りていただけるといい。 |
| | | | | | | ・松本・島内線の運賃は、タウンズニーカーより高くなる。 | ・引き続き福祉100円バスは使える。運賃設定は、今後再検討したい。 |
| | | | | | | ・松本・島内線の車両が小さくなる。満車時の対応は。 | ・増便する。 |
| | | | | | | ・乗車数が低下している理由は。 | ・子どもの絶対数が減っている。第二次ベビーブームから右肩下がり。松本市の出生率は毎年1,600人。モータリゼーションで自家用車を使う人が増えた。 |
| | | | | | | ・運行事業者の赤字体質改善に早期に働きかけられなかった理由は。 | ・これまで正面から向かい合ってこなかったとも言える。(宮之本副市長) |
| | | | | | | ・AIオンデマンド交通の話がもう少し聞けると思った。行政がどのように業者選定してプロポーザルをしていくのか。期間的には厳しいのでは。 ・なんとか乗る運動をしたい。乗車ポイントは150と聞いている。実際乗る場所と降りる場所は違う。色々決まってからではないとお知らせできないというのわかるが、もう少し情報がほしい。 | ・寿地区周辺、梓川地区でAIオンデマンド交通の導入検討を進めている。年度明けから早速業者選定に入る。プロポーザルをし、最適な業者を選定していく。5月中に業者選定審査会を行い、6月中に業者を決める。方向性が見えた時点で、地域の皆さんと具体的な話をしたり、利用者向け説明会をしたりしたい。10月の実証運行に向けて地域と協力していきたい。 |
| | | | | | | ・路線名はどのように決定したか。一般公募してはいいか。 | ・目的地の名称を統一的に設定した。一般公募は今後検討したい。 |
| | | | | | | ・満員になると増便とのことだが、それでは到着が遅れてしまう。 | 松本・島内線は、現状の利用状況を把握し、ポンチャではなく通勤ターでの運行となった。利用者が増えた場合は、検討したい。 |
| | | | | | | ・平田・村井線の時刻表表記について、寿方面、芳川方面では混乱するのでは。 ・AIオンデマンド交通の運行期間は6カ月ということか。 | ・できるだけわかりやすい表示を検討したい。 ・利用状況を把握しながら検討する。AIオンデマンドはODデータがリアルタイムでわかる。利用が見られれば、できるだけ早い時期に継続の検討をしていきたい。 |
| 深志中 | 3月29日（水） | 18:00～ 19:00 | 第三地区公民館 大会議室 | 第1、第2、第3、東部、中 央 | 26名 | ・北市内線。東まわりと西まわりの違いは。 | ・循環線のため、松本駅お城口を出て最初に東にいく路線が東まわり。西まわりはこまき道路をいく。また、西まわりは、信大病院の玄関前までいく。 ・時計回りや反時計回りといったほうが良いかもしれない。 |
| | | | | | | ・タウンズニーカー南コースで、相澤東病院にも行きたい。 ・ライフスクエアコモ庄内のバス停から店舗までが遠い。周辺の回り方が違うように感じる。 | ・相澤病院まわりは道路規制が多い。道路計画の見直しと併せていきたい。ニーズを確認しながらご意見として伺いたい。 ・ライフスクエアコモ庄内は、道路を渡らないといけないということは認識している。回り方の検討を進めていきたい。 |
| | | | | | | ・道路の混雑時間帯は、ダイヤ設定を遅くすることはできないか。 | ・時間帯によって調整しているが、交通事業者の経験値の中で設定している現状。できるだけ最新の状況を活用しながら、データを蓄積していきたい。 |
| | | | | | | ・運転手のマナーも改善するよう運行事業者をお願いしている。 | ・大事な視点。官民で連携してマナー改善の強化に努めたい。 |
| | | | | | | ・バスロケーションシステムが100%機能していない。以前から話をしているが、いつ改善されるか。 | ・信州ナビは、長野県が主体になっているもの。ご指摘あったとおり、すべてのバスに設備が搭載されていない状況。長野県に基本的にすべての車両が反映できるようお願いをしてきた。長野県からは基盤整備を進めていると聞いている。 |
| | | | | | | ・寿台線のバス停が増えたのか。 | ・「寿北6丁目」というバス停が新設された。 |

| ブロック名 | 開催日 | 時間 | 場所 | 対象地区 | 参加者数 上段:会場 下段:オンライン | 意見 | 回答 |
|-----------------------------------|---|-----------------|---------------|-------------|---------------------------|---|--|
| 西部 | 3月30日(木) | 19:00~ 20:00 | 波田公民館 大会議室 | 安曇、奈川、梓川、波田 | 19名 | ・ダイヤ変更の頻度は。 | ・まずは半年間、10月を見据えて検討していきたい。いままでデータが把握できずそれぞれ運行してきた。毎年1回は見直していきたい。 |
| | | | | | | ・稲核線が廃止され、朝はスクールバスに変更。利用が少ないことは承知しているが、送り迎えがますます加速しそう。 | ・ダイヤ設定は、学校に話を聞いた。小学生と中学生の通学時間が違うため、現行のダイヤとなった。市営バスになるため、白ナンバーでの運行になる。現状のご意見をいただきながら検討していく。 |
| | | | | | | ・稲核線廃止はやむを得ない。安曇地区は、冬場氷点下になるため高齢者がバス停で待つことが困難。ファーストマイルを検討してほしい。地域も協力していくため、地域が元気なうちに対策案を示してほしい。 | ・現状を見据えて便数を見直した。地域内の移動は「葉の交通」。きちんとした幹や枝を整える。検討していきたい。 ・大きなプロジェクト。まずは幹の部分に取り組んだところ。オンデマンド交通は万能ではない。タクシー会社と競合する部分が多い。ボランティアは持続可能とは言えない。自家用有償旅客運送という仕組みが現状ある。身近な人が有償で運ぶ仕組みを導入していかないと守っていけないと思う。ここにはいま到達できていない。トライしてうまくいかなかったら見直す。一緒に取組んでいきたい。(宮之本副市長) |
| | | | | | | ・梓川地区へのAIオンデマンド交通実証実験の実施に感謝。西部ブロックでは向いている交通手段だと思う。この機会に説明いただきたい。 | ・アプリやWEB上で、自分で乗る場所降りる場所を決める。ドライバーは表示されたルートでピックアップする。同じ方面の人の予約が入ればルートを変更しながら運行を続ける。いろいろなシステムが全国にある。来年度早々にプロポーザルを実施し、業者を選定していく。塩尻市や安曇野市は「のらーと」で茅野市は「のらざあ」。どういことができるか意見を聞きながら選んで聞きたい。6月にシステム業者が決まる予定。アプリの使い方を説明していきたい。電話予約も入れていく。スマホを使うことでより便利に使えるもの。使い方の説明をしたい。10/1を目指して進めている。 ・すでに市としてはプロジェクトの内容は確定している。受付は電話とアプリ。150~200のポイントを設定する。10/1スタートで実証実験をし、様子を見る。 |
| | | | | | | ・梓川地区は大型店舗もあり、安曇や奈川の人も買い物にくる。AIオンデマンド交通の説明会もこのようにブロック単位ですか。 | ・意見として承った。 |
| | | | | | | ・波田地区に住んでいる。アイシティに映画を見に行く。アカデミア館も行く。通勤通学が主。フリーの人間が遊びに行くようにダイヤ設定に思えない。いつ要望を聞く機会があったのか。 | ・どちらも行ける。後ほど改めて説明する。 ・2年前から説明会をしてきた。変更のある路線については、地区での説明会を実施してきた。計50カ所。説明会の開催を知らなかったという声も聴いている。 |
| | | | | | | ・波田地区に住んでいる。現状電車の乗換えやタクシーを乗継いで移動している。地域で登録して、移動の不便さが解消できたらいいと感じた。 | ・中山間地の利便性をどう向上させていこうか考えたい。(宮之本副市長) |
| ・奈川・安曇線。カッコ付きが多い。降車専用は乗れないということか。 | ・降車専用。現状もこのようなダイヤ。終点まで人がいなければ運転を切替えるという運行をしている。運行の必要性をカバーするのであれば、予約制に切替えていくといった工夫が必要と考える。 | | | | | | |